



医療法人社団 輝生会

kisei-kai

介護福祉士

Recruiting Guide

ケアワーカー



採用実績・福利厚生
キャリアアップ・教育体制
一日の仕事
チーム医療・先輩メッセージ
部門メッセージ

初台リハビリテーション病院

船橋市立リハビリテーション病院

リハビリ介護は「身体上、精神上の障がいがあることにより日常生活を営むのに支障があるものに対し、本人が成しうる最も豊かで充実した生活・人生の実現」です。
 私たちケアワーカーが24時間の生活全般を支えています。



初台リハビリテーション病院
回復期支援部 部長 畑中 美穂

回復期支援部 部長挨拶

初台リハビリテーション病院の特長は、多職種病棟配置によるチーム医療です。さらに、臨床現場における人材育成としてOJT強化を図る新体制をスタートさせました。病棟の管理者3名体制とし、病棟運営とリハケアの質の管理に責任を持ち、スタッフ自ら学ぶ意識を持ち行動できる環境を提供したいと考えています。初台リハビリテーション病院の介護福祉士は、チームの一員として患者さんを担当し、多職種と連携を取りながら患者さんの支援を実践しています。

介護福祉士の専門知識・技術を活かし多職種協働で患者さんの回復を支援できる環境だと思います。

患者さん、ご家族が再び輝いた人生を取り戻して頂けるよう、一緒に働いてみませんか。お待ちしております。



船橋市立リハビリテーション病院
回復期支援部 部長 川田 理恵

回復期支援部 部長挨拶

船橋市立リハビリテーション病院は、開院から15年目を迎えます。当院の最大の強みはチームアプローチです。医師・看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・管理栄養士・薬剤師が、各チームに約50名配属されています。職種間に垣根がなく、医師を含む全スタッフが先生ではなく、「さん」付けで呼び合い、同じ目線で患者さんやご家族と向き合い、充実した仕事をしています。介護福祉士は助手ではありません。専門職として入院から退院まで患者さんを担当し、時にはチームのサブリーダーとして多職種をまとめる役割を担います。専門職として知識・技術の向上、自己成長ができる職場だと思います。

法人名の「輝生会」には、患者さんご家族が再び輝ける人生を送ってほしいという願いが込められています。その実現のために、私たちができる最大限の支援を行います。介護福祉士・介護福祉士実務者研修修了者のみなさん、患者さんが回復していく過程の支援、退院支援と一緒に実践しませんか。

基本理念

「人間の尊厳」の保持

一人ひとりの尊厳が認められ、個人が輝いて生きていけるように人権を尊重します。

「主体性・自己決定権」の尊重

患者さまの主体的なリハビリテーションを推進し、自己決定権を尊重します。

「地域リハビリテーション」の推進

地域におけるリハビリテーションサービスの向上を推進します。

「ノーマライゼーション」の実現

高齢者や障害者が健常者と共に暮らせる安全で豊かな社会の実現を目指します。

「情報」の開示

院内情報を開示し、患者さま・ご家族の方々が納得できるサービスを提供します。

私たちが提供する医療サービス

当法人が大切にしているサービス

『人間の尊厳の保持』を念頭に、入院中であつても人間としてあたり前の生活をしていただくことを大切にしています。その代表的実践例が病棟生活における寝・食・排泄・清潔の分離です。つまり、寝る場所はベッド、食べる場所は食堂、排泄はトイレ、清潔はお風呂とし徹底的なケアの実践をしております。

さらに、このような生活の場である病棟を中心にリハビリテーションを積極的に行い、ご自宅に退院されたときの生活に結び付きやすくしています。病棟を中心としたケアとリハを融合した質の高いサービスを提供しています。

部門長挨拶



船橋市立リハビリテーション病院
部門長 高本 真紀子

回復期リハビリテーション病棟で働くケアワーカー（介護福祉士）は、患者さんが安心して入院生活が送れるように、24時間体制で生活をサポートしています。

また、ケアワーカーもチームの一員として担当を持ち、退院まで他職種と協働しながらケアを提供していきます。

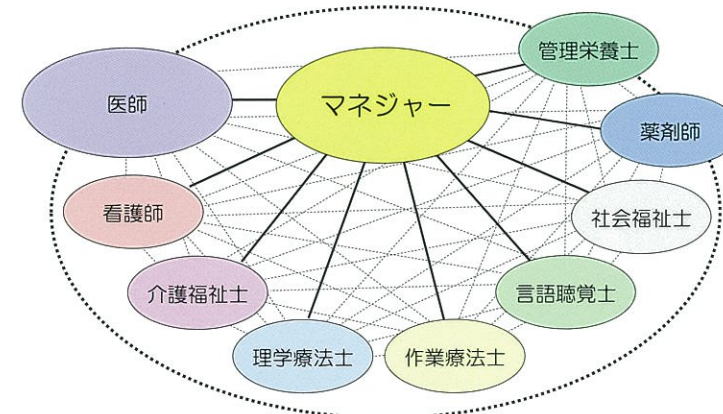
回復期リハビリテーション病棟に興味はある！働いてみたい！でも知識・技術は大丈夫かなあ・・・と思ってる皆さんの不安や戸惑いを「自信」に変えられるように、研修を企画・開催しサポートしていきます。

患者さんの回復する過程を、一緒に喜び合うことができる魅力ある病院です！



初台リハビリテーション病院
部門長 磯部 香奈子

病棟配属による徹底したチームアプローチ



病棟に複数職種のマネジャーを配置し、理念の実践とチームアプローチの質向上を図っています。
 サブマネジャーとして、看護師1名、理学療法士1名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、介護福祉士1名を配置しています。

職種の垣根を越えたチームで、患者さんの回復を支援し最高のケアを提供。

多職種が個々の専門性を発揮し、チームで協働することで患者さんの在宅復帰へのサポートを行っています。



チームのつながりを深めるため全スタッフが同じユニホームを着用し、お互いを「さん」づけで呼び合います。すべての職種間に垣根はありません。スタッフが協力して最強のチームを構築しています。中心となるのはいつも患者さん。

ADLの向上と在宅に向けての目標を掲げ、チーム全員で同じ目標に向かっていきます。チームの中でケアワーカーは患者さんの一番身近にいて、日々、自立への支援を実践しています。



小原 翔
(おぼらかける)

個々の患者さんの回復の過程に携われることが魅力

キャリアアップ、スキルアップのため、多職種と連携しながら患者さんへ関わることでできる環境の中で技術・知識を身につけたいと思い就職しました。患者さん一人ひとりの入院から退院までの回復の過程に携われることが魅力です。目に見えて変化がわかるのでやりがいや自信につながっています。成長したところは半年間業務を行い患者さんと向き合うなかで、患者さんの想いを汲み取るように意識できるようになったところだと思っています。

患者さんの回復は生活の中で行うことが重要だと実感

当院は大学のゼミで勤められました。生活期は患者さんが行えることもスタッフが手を出すことが多く、回復期では患者さん自ら行おうとすることに対してサポートできるのではないかと思います就職しました。回復期リハ棟で仕事をするようになり、患者さんがどう回復していくかは、毎日3時間のリハビリテーションだけでなく、生活の中でできることを行ってもらうことが重要だと思いました。そして今は患者さんの生活に関わっていることが実感できています。



小泉育美
(こいずみくみ)

多職種のさまざまな視点で患者さんを理解

見学に来た際に学校や実習で学んだ自立支援とは大きく違い、入院した人がひとりで歩いて自宅に帰ることに感銘を受け、ここに就職を決めました。入院してから退院まで、介護福祉士がいちスタッフとして患者さんのお手伝いをし、無事退院を迎えられたときは自分もうれしくなります。また、多職種でチームを組むことにより、さまざまな職種の視点で患者さんを知ることができるため、自分自身の学びや成長につながります。



徳田優加
(とくだゆか)

多職種とチームで連携し患者さんを支えることが魅力

病院での介護はどのようにケアをしていくのかまた、多職種と連携した日々のケアはどのようなものか興味を持ち、実際にケアを行いたいと思い就職しました。介護福祉士・看護師だけでなくさまざまな職種と患者さんにどのようなケアを行うのか、生活のどの場面に関わっていくかとチームで連携していくところに魅力を感じています。社会人1年目としてわからないことや気をつけていくことを先輩に聞きながら実践することで、日々のケアをどうしたらよいか考えられるようになりました。



鈴木茉那
(すずきまな)

スタッフの1日のスケジュール

寄り添い、見守り、患者さんの力を引き出す「アクティブに待つ介護」を私たちと共に、ここで実践してみませんか

 <p>8:35~9:00</p> <p>① ミーティング</p>  <p>全員参加の朝夕のミーティングです。患者さんについての情報を共有します。</p>	 <p>10:00</p> <p>② バイタル測定</p>  <p>元気にリハビリテーションが行えるかを看護師とともに体調管理をします。</p>	 <p>12:00</p> <p>③ 食事</p>  <p>「口から美味しく食べる」ことから始め、「自分で食べる」へ変化させていきます。</p>	 <p>13:00</p> <p>④ 排泄ケア</p>  <p>オムツから離脱し、トイレでの排泄を目指します。</p>	 <p>13:45</p> <p>⑥ カンファレンス</p>  <p>様々な職種の担当者が集まり、「その人らしい生活ができる」ために話し合いをします。</p>	 <p>15:00</p> <p>⑤ 移動訓練</p>  <p>退院後の生活を見据えて継続した運動や活動ができるよう支援します。</p>	 <p>17:00~18:00</p> <p>⑦ 入浴ケア</p>  <p>要介護の患者さんも1日おきに湯船に入り、清潔の保持と癒しの時間を提供します。</p>
---	---	--	---	---	--	--

ケア場面・余暇時間・退院支援など介護福祉士が活躍する場が沢山あります。



介護福祉士もリーダーシップを発揮し、患者さん・ご家族の退院支援をお手伝いします。



患者さんの自立支援を促せる介護技術が習得できます。残存機能を活かして身の回りのことが一人でできるよう支援するのが介護福祉士の役割です。



患者さん・ご家族にとって一番身近な存在です。患者さんの思いを引き出し、他職種と情報共有しています。



リハビリでできたことを生活場面でも更に行えるように支援しています。回復してみられる、この醍醐味は回復期では体験できません。

基本的ケアの10項目

- (1) 食事は食堂で、可能な限り経口摂取していただきます。
- (2) 洗面は朝夕洗面所で、口腔ケアは毎食後実施し、身だしなみを整えます。
- (3) 排泄は必ずトイレで、オムツは極力使用いたしません。
- (4) 入浴は家庭にある一般の浴槽を使用し、一日おきに浴槽に入ってください。
- (5) 朝晩着替え、日中は普段着で過ごしていただきます。
- (6) 転倒や誤嚥等の事故防止対策を徹底します。原則として抑制はいたしません。
- (7) 可能な限り日中はベッドから離れて過ごしていただきます。
- (8) 他職種との情報の共有化を推進し、個別で具体的な看護・介護計画を立案・実施します。
- (9) リハ技術を習得し、看護ケアに活かします。
- (10) 家族へのケアと介護指導を徹底します。

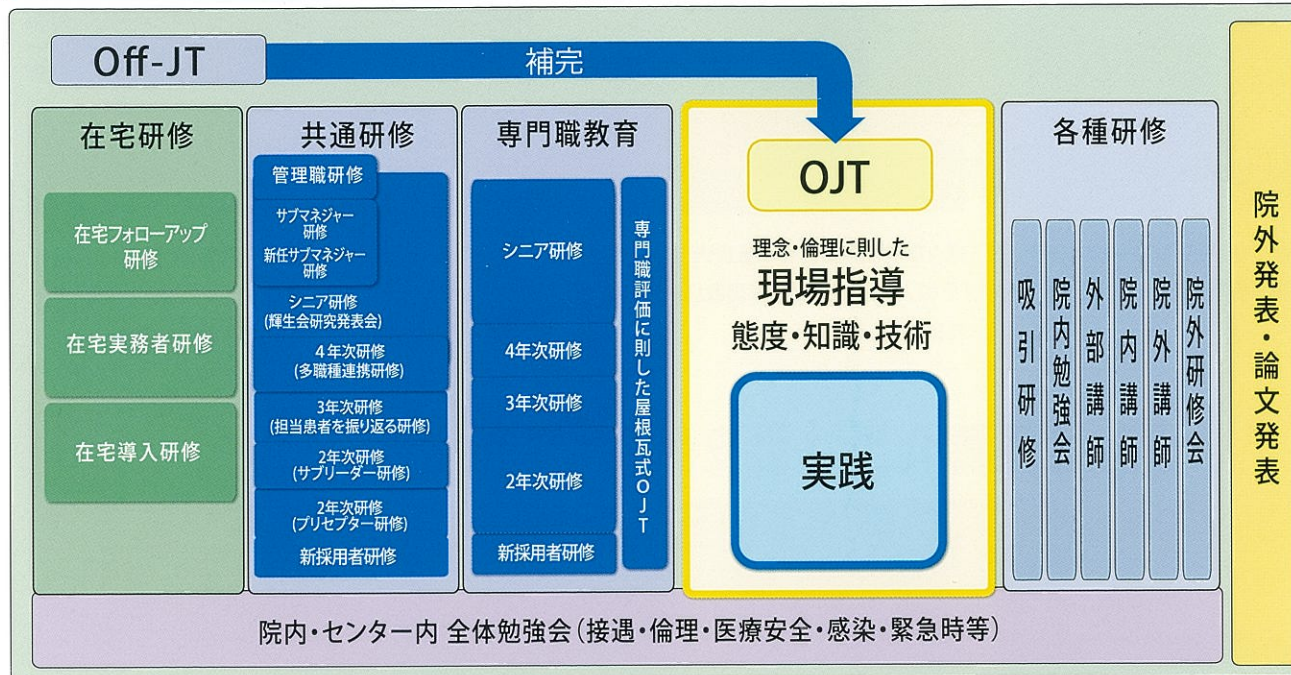
研修全体概要



研修は大きく3つに分かれ(下図)、共通研修、専門職教育、在宅研修となっており、経験年数ごとに底辺に1年目スタッフ、次いで2年目、3年目と上層へステップアップしていくことをイメージした構成としています。

輝生会 研修全体像

2021年4月 人材育成局



輝生会 介護福祉士の教育体制



ステージⅠ (1年～2年)
【助言を得ながら介護が実践できる】
【介護計画に基づいた介護が実践できる】

〈主な研修プログラム〉
日常生活支援技術(入浴・食事・排泄介助・移乗・移動など)
医学知識、介護過程、ICF、他職種理解、対人援助技術



ステージⅡ (3年～4年)
【患者さんに個別的な介護を実践できる】

〈主な研修プログラム〉
在宅支援、家族看護、コミュニケーションスキル、メンタルケア、リーダーシップ



ステージⅢ (5年～6年)
【臨床実践の指導ができる】
【退院後の生活を見据えた生活支援の実践ができる】

退院支援、症例報告、臨床実践の指導

私たちサブマネジャーは、リハビリ介護領域の実践を育成し、専門職としての成長をサポートしています。

24時間の生活を支えながらリハビリを行える環境を整えることです。時にはリハビリを一緒に行い、時には家族のような存在で話を聞くそんな仕事です。担当を持ち多職種と共有、協働して関わっていくことが魅力です



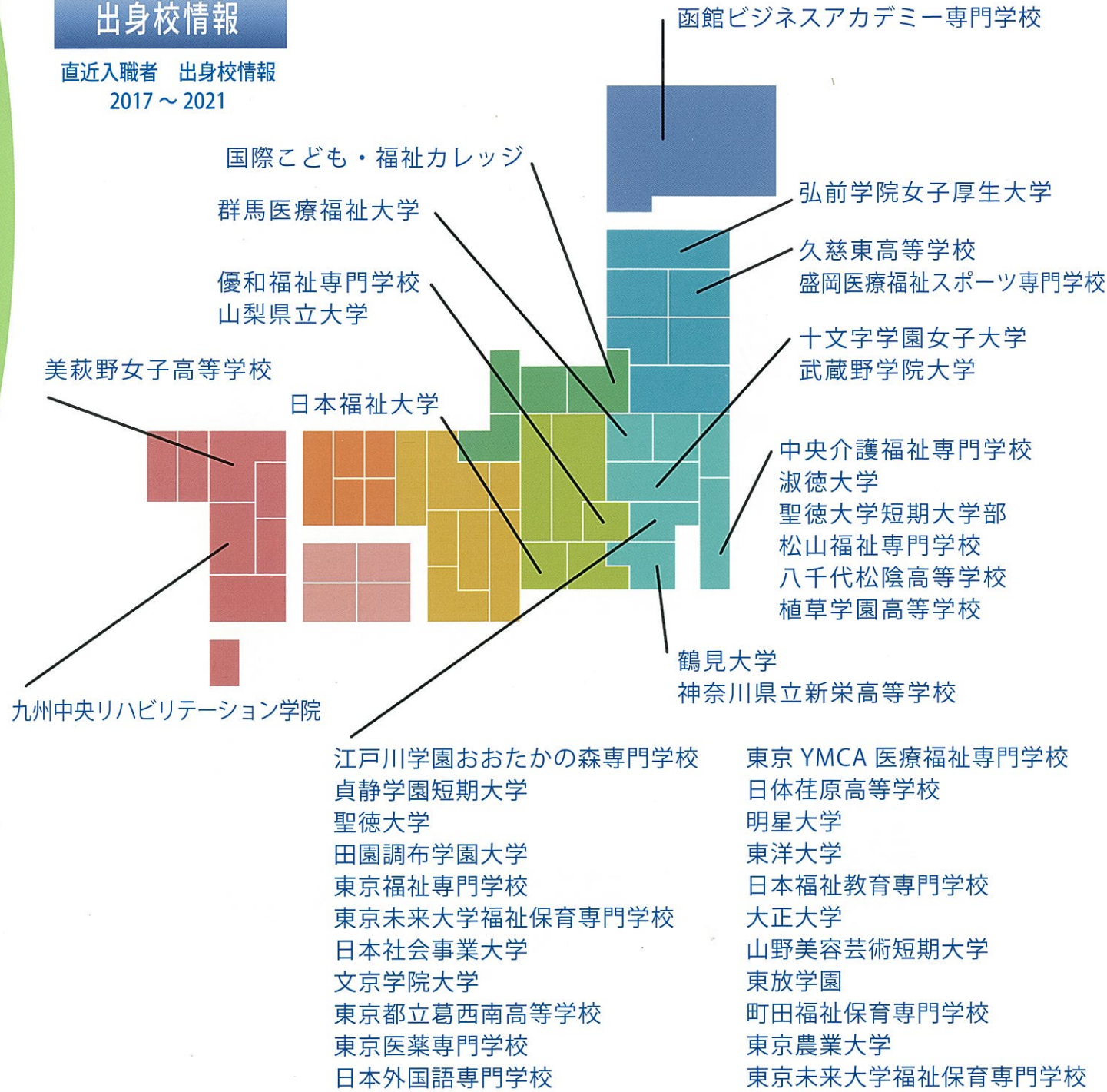
初台リハビリテーション病院



船橋市立リハビリテーション病院

出身校情報

直近入職者 出身校情報
2017～2021



過去の採用実績校

盛岡医療福祉専門学校 専修大学北上福祉教育専門学校 北日本医療福祉専門学校 仙台医療福祉専門学校
 仙台大学 仙台白百合女子大学 日本赤十字秋田短期大学 マロニエ医療福祉専門学校 国際医療福祉大学
 前橋医療福祉専門学校 群馬医療福祉大学短期大学部 秋草学園福祉教育専門学校 十文字学園女子大学
 京葉介護福祉専門学校 城西国際大学 江戸川学園おおたかの森専門学校 成田国際福祉専門学校 聖徳大学
 中央介護福祉専門学校 上智社会福祉専門学校 世田谷福祉専門学校 早稲田速記医療福祉専門学校
 東京 YMCA 医療福祉専門学校 東京医療秘書福祉専門学校 東京福祉専門学校 東京福祉保育専門学校
 東京豊島 IT 医療福祉専門学校 東京未来大学福祉保育専門学校 東洋大学 日本社会事業大学
 日本福祉教育専門学校 文京学院大学 YMCA 健康福祉専門学校 国際こども・福祉カレッジ
 北陸福祉保育専門学校 山梨県立大学 松本短期大学 麻生医療福祉専門学校福岡校
 九州中央リハビリテーション学院 都城コアカレッジ

充実した環境があなたの生活を豊かにしてくれます

渋谷スクランブル交差点



新宿や渋谷へのアクセスもいい初台。
仕事帰りにショッピングやお洒落なカフェで
リフレッシュできます。

ふなばしアンデルセン公園



駅前は大規模の商業施設もある利便性のいい船橋。
周辺には人気のテーマパークもあり、
自然を満喫できます。



夏祭り

院内では、年間を通じてさまざまなイベントが開催されています。
四季を感じられるときでもあります。



もちつき大会

フットサル部



院内には、様々なサークル活動があります。仕事を離れ、
スタッフ間の交流を図れる場となっています。

豚肉ロースの南蛮漬け焼き



ハッシュドビーフ



午後の仕事の原動力となる職員食堂。
スタッフの健康面も重視した
バランスのよい食事を提供しています。



↑施設概要は
こちらから

新宿や渋谷からも近い初台は、グルメや買い物だけでなく、劇場も有した複合商業ビルがあり、洗練されたスポットです。



初台リハビリテーション病院

開院/2002年6月

病床数/179床(4人床30室・2人床6室・個室47室)

事業内容/回復期リハビリテーション病棟

外来リハビリテーション

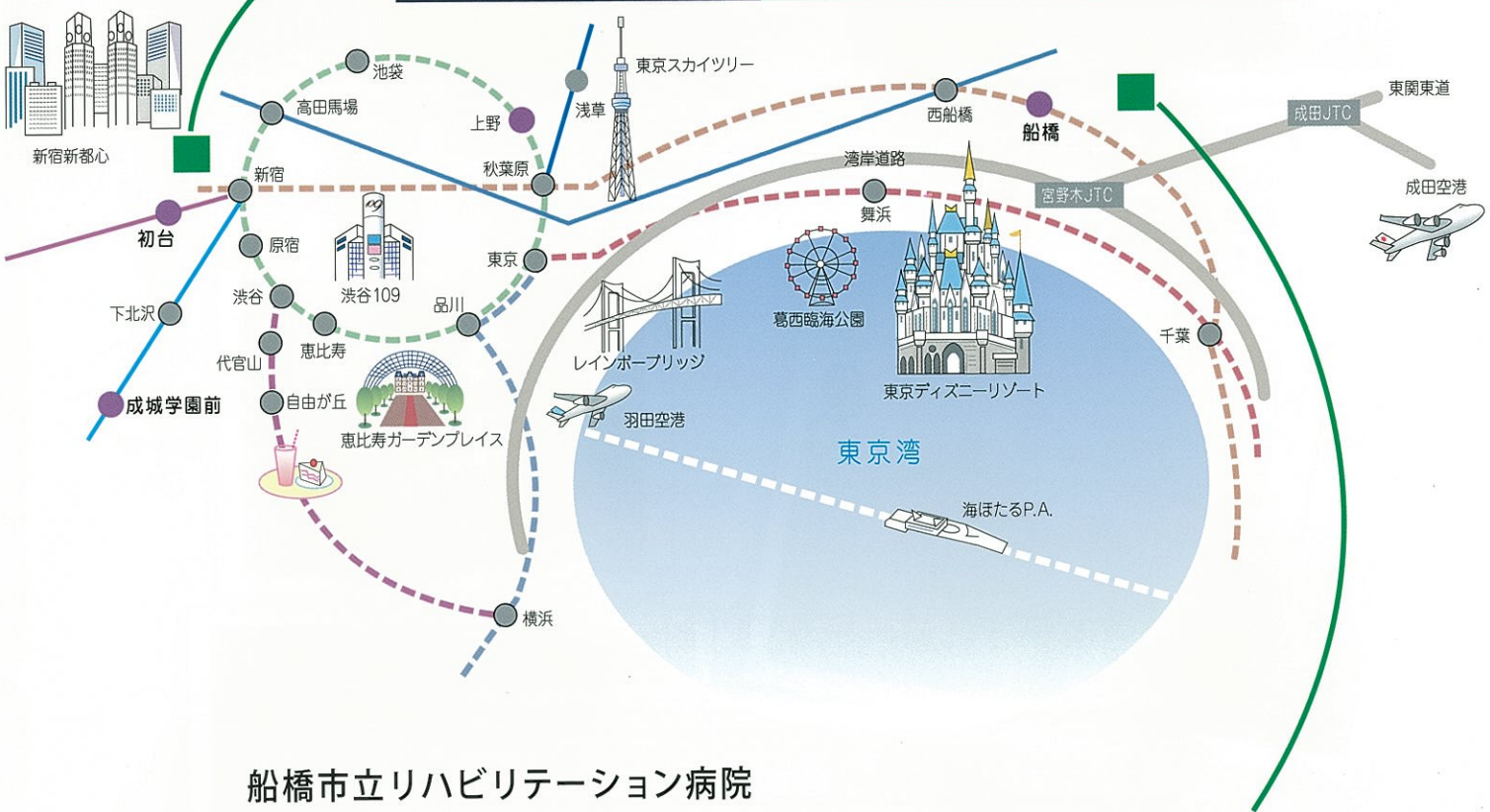
訪問リハビリテーション

通所リハビリテーション

〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3

TEL.03-5365-8500 FAX.03-5365-8503

<https://www.hatsudai-kango.com/>



船橋市立リハビリテーション病院



↑施設概要は
こちらから

都心からのアクセスもよく、駅周辺は大型の商業施設が充実しているので買い物にも便利です。



開院/2008年4月

病床数/200床(4人床40室・2人床4室・個室32室)

事業内容/回復期リハビリテーション病棟

外来リハビリテーション

訪問リハビリテーション

通所リハビリテーション

〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-26-1

TEL.047-439-1200 FAX.047-439-1386

<https://www.funareha-kango.com/>

病院見学・インターンシップ・採用試験など
お気軽にお問合わせください。

お問合わせおよび書類提出先
医療法人社団輝生会 サポート本部(採用担当)

〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 キクヤビル5階:03-5816-8053

E-mail:saiyo@kiseikai-reha.com URL:<https://www.kiseikai-recruit.com/>